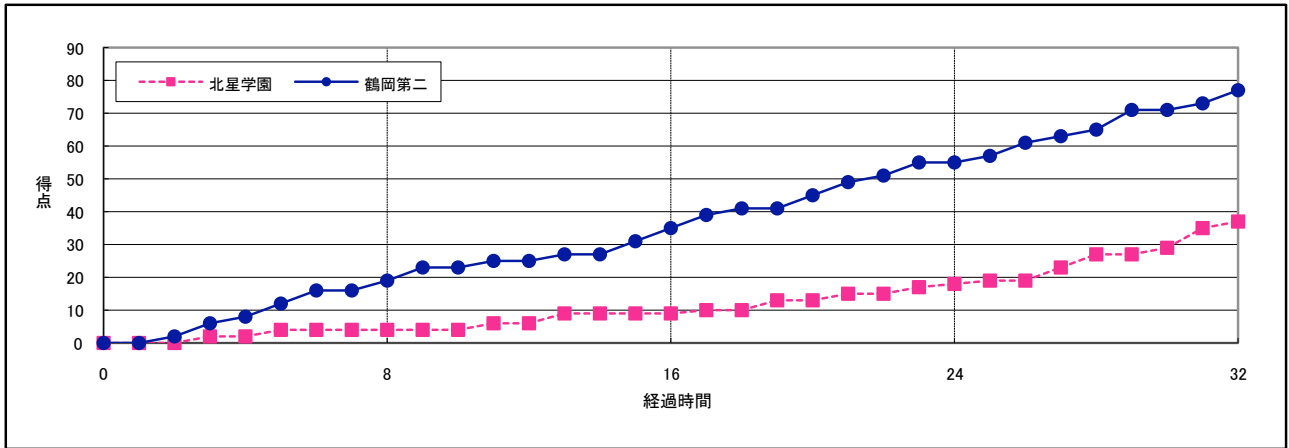


平成21年度全国中学校体育大会
第39回全国中学校バスケットボール大会



試合区分	1日目 女子 Gコート第5試合 予選リーグK																			
日時	8月20日(木)		14:50 ~																	
会場	サンアリーナせんだい																			
結果	北星学園 北海道	37 ●	<table border="0"> <tr><td>4</td><td>1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>5</td><td>2nd</td><td>16</td></tr> <tr><td>9</td><td>3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>22</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	4	1st	19	5	2nd	16	9	3rd	20	19	4th	22		OT		77 ○	鶴岡第二 山形
4	1st	19																		
5	2nd	16																		
9	3rd	20																		
19	4th	22																		
	OT																			
審判	主審 岡崎 武史		副審 伊藤 浩																	



【個人トータル表】 ×=スターティングメンバー / =出場選手

空欄=出場なし

北星学園							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	布施 優菜	×	2	0	1	0	4
5	上村 彩音	×	7	0	3	1	3
6	木村 理紗子	/	0	0	0	0	0
7	小俣 詩織	×	0	0	0	0	1
8	行友 もも	/	0	0	0	0	1
9	松下 里彩	×	3	0	1	1	3
10	大西 舞						
11	森下 桂奈	×	10	0	5	0	1
12	橋本 沙季	/	8	2	1	0	1
13	中川 莉奈	/	2	0	1	0	0
14	角田 かれん	/	5	0	2	1	0
15	三島 彩華	/	0	0	0	0	0
16	山戸 もも夏	/	0	0	0	0	0
17	榎田 真以	/	0	0	0	0	0
18	谷本 千布由						
監	小師 良仁						
C	白川 部 篤夫						
合計			37	2	14	3	14

鶴岡第二							
No.	選手氏名	Pl-in	得点	3P	2P	FT	反則
4	大沼 千尋	×	21	0	10	1	1
5	佐藤 奈央	×	4	0	2	0	1
6	齋藤 沙織	×	12	0	6	0	1
7	奥田 琴子	×	16	0	8	0	3
8	沼沢 聡美	×	9	0	4	1	3
9	阿部 怜子	/	9	0	2	5	2
10	工藤 幸奈	/	2	0	0	2	0
11	菅原 千佳	/	0	0	0	0	0
12	伊藤 希美	/	0	0	0	0	0
13	阿部 奏子	/	0	0	0	0	0
14	原田 ひより	/	2	0	1	0	0
15	菅原 佳子	/	2	0	1	0	0
16	園部 あすか						
17	加賀山 瑞希	/	0	0	0	0	0
18	佐藤 憂里香	/	0	0	0	0	0
監	村井 弘幸						
C	五十嵐 美佐子						
合計			77	0	34	9	11

3P=3ポイントシュート 2P=2ポイントシュート FT=フリースロー

予選突破をかけた一戦は、第1P、鶴岡第二が先に抜け出す展開となった。フリースロー、速攻などで2-8と鶴岡第二がリードしたところから北星学園タイムアウト。その後、北星学園は#5のゴール下などで対抗する。しかし、鶴岡第二#6のゴール下シュート、#7のジャンプシュートなどで得点を加算し、4-19と鶴岡第二リードで第1Pを終える。
 第2P、鶴岡第二は開始すぐに、#9、#8、#6と3連続でシュートを決め、さらに引き離す。北星学園もディフェンスをゾーンに切り替え、#12がジャンプシュート、3Pシュートを決めるものの、なかなか差が縮まらない。その後、鶴岡第二は#7のジャンプシュートなどが決まり、前半を9-35と鶴岡第二リードで折り返す。
 第3Pに入っても、鶴岡第二が優勢に試合を進める。#4のドライブ、#7のジャンプシュート等で点差をさらに広げる。北星学園もディフェンスを変え、#12が3Pシュートを決めるも、後が続かず18-55となり、第3Pを終了。
 第4P、北星学園はディフェンスをオールコートのマンツーマンディフェンスに変え、激しいディフェンスを繰り返す。それが鶴岡第二のミス誘い、#8のルーズボールから#11のバスケットカウント、#5のバックシュートと続く。しかし、鶴岡第二も#4や#9が速攻などを確実に決め、37-77で鶴岡第二が勝利した。